

【苓北町】  
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

学校のネットワーク改善ガイドブック「第2章ネットワークの課題把握と対応」の簡易帯域測定（令和6年8月に実施）の結果、「学校規模ごとの推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を超える学校数は、5校（小学校4校・中学校1校）であり、総学校数に占める割合は、100％（5校/5校）となります。

現在の運用において、児童生徒や教職員から回線速度に関する不満や意見は寄せられていません。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

本町の各学校の児童生徒が使用する端末は、各教室に設置している無線LAN環境により利用しています。現状は下記のとおりとなっており、不具合が起こればネットワークアセスメントを実施します。

○現状の確認

インターネットへの接続方式：各学校インターネットに直接接続しています。

回線の通信最大速度（理論値）：1 G b p s ベストエフォート型で1回線契約。

機器（ファイアウォール、スイッチ等）保守を業者と契約しています。

○不具合が起こった時の対処

原因の調査、機器保守業者に、不具合の調査依頼を行います。

原因が特定された場合は、修理等の対策を行います。

原因が分からない場合は、ネットワークアセスメントの実施準備を行います。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

現在のネットワーク環境は推奨基準を満たしており、問題は確認されていません。定期的に簡易帯域測定を実施し、機器の更新等は保守業者と打合わせを進めます。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

現在の各学校のネットワーク環境は、問題はなく運用されており、児童生徒数は今後減少傾向と思われる、1人当たりの推奨速度に余裕が見込まれます。

しかし、当町は町内全学校（小学校4校・中学校1校）の統廃合による、義務教育学校の開校の協議・検討を行っており、令和12年4月を目標に開校を目指しています。

次期開校予定の学校（中心の小学校に中学校部分を増築）では、本町児童生徒が1つの学校に集まるため適切なネットワークの構築が必要だと思われます。

実施スケジュール

令和8～9年度 校舎増築・大規模改修設計（基本・実施）へネットワーク環境の計画を組み込みます。

令和10～11年度 増築・改修工事で施工し、小学校分1回線から中学校分1回線を引き、複数の回線による帯域拡張を行います。（機器も含む。）